



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月31日（月）



今日は朝から嬉しいことがありました。ふじみ野市花いっぱいコンクールの審査結果が学校運営協議会長に届き、本校の花壇は、「**会長賞**」をいただきました！ これまで多くの皆様にご協力をいただき、昨年度から工夫改善を凝らしてきたことが審査員の高評価につながったのだと思います。今朝の花壇は一段と輝いて見えました。これから、花壇が本校の顔となるよう、そして地域協働のシンボルとなるよう、皆様と手を携えながらさらに充実・発展していけたらと願っています。

花いっぱいコンクールの表彰式は、11月17日です。



2年生の算数では、かけ算の学習は九九の構成と暗唱に進んでいます。教室をのぞいてみると、子供たちは覚えたばかりの九九を言いたくて仕方ありません。先生が、「5の段を言える人は？」と投げかけると、みんな一斉に手を挙げます。肘をまっすぐ伸ばし、指の先までピンとしているのは、自信の表れです。指名されると、すらすらと暗唱することができます。間違えずに言えて、みんな満足そうです。

かけ算九九は、5の段から始まって、 $2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 6 \cdot 7 \cdot 8 \cdot 9 \cdot 1$ の順で学習が進んでいきます。4の段までは、九九を構成するのも暗唱するのも比較的スムーズですが、6の段以降からだんだん難しくなっていきます。例えば6の段でいうと、 6×5 までは、交換法則により、すでに学習した九九の中から答えを見つけられますが、 6×6 から 6×9 までは自分で答えを探さなくてはなりません。数が大きくなってくるとたし算するのも大変です。一つの方法としては、 6×6 は 2×6 と 4×6 の答えをたしたものと同じであることを九九表から発見します。いわゆる分配法則です。もちろん、これ以外の方法でも九九を構成していきます。



今日は、午後から就学時健康診断があるため、子供たちは3時間授業で給食を食べてから下校でした。就学時健康診断には、来年度入学予定の子供たちと保護者の皆様にご来校いただき、皆様のご協力のもと健診は円滑に実施することができました。また、県家庭教育アドバイザーの先生をお招きし、入学に際しての子育てについて講話をいただきました。「子供の話をよく聞いて」という先生のお話は、とても参考になるものでした。

